公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	重症児デイサービス fuwaRi			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2024年 11月 10日		～	2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケアを受けながら状態に合わせた療育の実施	個別にケアシートを作成し個々の状態に合わせた医療的ケア、安全に配慮し統一した医療的ケアを実施できるようにしています。また体調を見みながら無理なく活動を行えるよう取り組んでいます。	体調やタイミングに合わせて十分に活動に取り組みめるよう保育士・児童指導員だけではなく看護職員の療育への対応のスキルアップを行うことができるよう勉強会・研修会などを検討していきたいと思ひます。
2	安心・安全に過ごすことのできる環境づくり	個別ケアシートをもとに対応するだけではなく、日々の変化をご家族と共有し、必要があれば医療機関との連携を取りながら対応しています。また個々の状態に合わせた活動と休息の時間をとることができるよう配慮しています。	ヒヤリハット事例があった際にはスタッフで速やかに共有し対応策を検討周知していきます。また医療機関との連携を十分に行い対応を行っていきます。
3	利用者やご家族の意向を尊重した支援の実施	主に重症心身障害児や医療的ケア児を対象としているため、療育支援だけではなく入浴やレスパイトといった家族支援も合わせて行うことができるよう取り組んでいます。	今後利用者の増加に伴い希望に沿うことが難しい部分も出てくる可能性がある。既存の利用者だけではなく、新規の利用者の意向などを面談や保護者会などを通じて共有し公平性を保った支援の取り組みを行えるよう検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもとの交流の機会も持つことができていない	利用児の多くが医療的ケアが必要であり、また感染症にかかると重症化しやすいという点から外部との交流をする機会を簡単に持てずいます。	感染症の流行が少ない時期などに少人数での交流や、利用児様のご兄弟との交流の機会をつくるなどの取り組みを今後検討していきます。
2	定期的な父母会の開催ができていない	父母会は不定期には開催していますが、1日を通じて利用児がいることが多く、開催場所の確保が難しい日が多く機会を持てずにいることが要因と考えます。	開催する時間帯の工夫や、少人数での開催など検討し定期的な開催ができるようにしていきたいと思ひます。
3	利用者の状態・人数により狭さを感じてしまうことがある	利用児の多くはバギーを使用していることや、横になって過ごすことも多いためそのためのスペースを確保していることにより空間が狭く感じてしまうことがある。	バギーの置き場の工夫や、時間帯によって横になって過ごすためのスペースをずらすなど十分に活動できるような場所の確保を行っていきます。